

# 介護って、楽しい！

## ケアワーカーについての誤解 ：決して、3Kではない！

ケアワーカー（介護福祉士）のことを3K（きつい、汚い、危険）であるかのように誤解している人がいますが、決して労働環境の悪い職業ではありません。むしろ、高齢者や障害者に力と勇気を与える美しい職業であり、やりがいのある仕事です。職場では、心優しい人が多く、自身も温かみを感じながら、仕事することが可能です。

多くのマスコミでは、「介護職の方々が大変な仕事を頑張らせてされている」と報道されるので、いかにも過酷であるかのような誤解を与えてしまい、若い人々が敬遠する傾向にあります。

### 1. 「きつい」か？

どんな仕事でも、楽勝ということはありません。しかし、強大な筋力が必要かという点、そんなことはありません。マスコミでは「高齢者を抱える」かのような表現を使うことがありますが、今時、抱えるような介護はありません。重度の障害がある場合には、福祉機器を活用して車椅子に移乗します。また、立たせたり、歩かせたりする場合にも、できるだけ無駄な力を使わなくて誘導できるよう、養成校では学生に丁寧に指導しています。卒業生はプロとして働くので、腰痛を起こすような人はおりません。

夜勤はありますが、シフト制を採っていますので、夜勤明けは24時間以上の休暇が保証されています。それは、看護師と同様です。むしろ、医師の方が夜勤の後に日勤を継続して行うことがあるため、非常に過酷と言えます。

## 2. 「汚い」か？

オムツの交換などは担当しますが、決して素手で行うのではなく、手袋をはめて作業します。それに、福祉機器の発展によって、陰部の清浄を用的に行うことは減少しました。身体の中で最も汚いものは血液であり、ケアワーカーは血液は扱いません。血液を触ったり、針刺し事故が起こる危険性がある職種は、医師、看護師、検査技師などです。

高齢者や障害者が衛生的に生活できるよう援助する職業であるため、むしろ、「きれい」な仕事です。

## 3. 「危険」か？

教育を受けた医療ケアワーカーは、自らも衛生面に配慮するよう指導を受けています。そのため、新型コロナウイルスをはじめとする感染症に罹患する確率は、一般市民よりも極めて少ない状況です。「介護施設で相次ぐクラスター」という報道がなされると、如何にも介護職が危険であるかのような誤解を与えてしまいます。クラスターになっているのは職員ではなくて、マスクを着用しない利用者さんです。施設に新型コロナウイルスを持ち込んだのは職員でしょうが、職員の中には無資格の介護職も勤務されています。国家資格であるケアワーカーの養成校では、感染に対する教育もしっかりと行われています。東京都の抗体陽性者率は2021年2月現在で0.91%でしたが、介護職の陽性者率は0.01~0.02%と推定されています。

医療ケアワーカーは、放射線などの危険な物質を扱う職種ではなく、比較的労働災害も少ない現状にあります。人間関係も良好で、職場でのストレスも少ないため、決して危険な職業ではありません。

## 4. その他

「高齢者の虐待・殺人」の報道が話題となったために、誤解されることが多いようです。介護施設での介護職による虐待の件数は2019年度には644件と報告されていますが、同年の児童虐待は19万3000件でした。一般企業でハラスメントがあったと回答した会社も36%を越えているとのことですので、介護職による虐待はむしろ少ないと言えます。

す。もちろん、虐待は決して好ましいことではありませんので、養成校では学生に対して適切な指導を行っています。

介護施設の職場では心温かい人々が就職しているため、ハラスメントは比較的少ないようです。また、利用者さんやご家族から感謝されることが多く、やりがいがある職業です。給与面で問題があるとの報道もみられますが、医療ケアワーカーの資格を取得していれば、他の医療福祉職に劣ることはありません。むしろ、夜勤の分だけ多職種よりも高収入です。介護職の中には無資格の方もいらっしゃるのですが、その方々が低賃金であるという問題は依然として残されています。

介護って、楽しい（ビデオインタビュー）：

<https://www.youtube.com/watch?v=ds0LVH7hkHM>

ホームページに戻る：<http://ojrat.g1.xrea.com/>